

委員質問・意見等

第 133 回定例会（7 月 2 日）受付分

（ 武本（和） 委員 ）

- 東京電力 に対する 質問

別紙のとおり

2014.07.02

安田層（古安田層）等に関する質問

武本 和幸

6.21 の東電視察の際に、2014.03 作成の「柏崎刈羽原子力発電所の安全対策」のリーフレットを得た。この 6 頁に「敷地内断層の活動実績を確認しました」がある。

類似の図は、2012.8.10、2013.4.18、2013.9.27 にも発表されている。参考に次頁に添付する。

2014.4.18 までは安田層の A1~A2 は不整合、A2~A3 は整合（一部不整合）、A3~A4 は整合、A4~大湊砂層は指交とされていた。それが、2014.9.27 には、A1~A4 間の変更はないが、A4~大湊砂層は不整合に変更された。そして、2014.03 のリーフレットでは、A1~A4 の区分がなくなった。

大湊砂層と番神砂層の間は、整合（一部不整合）で変わりがない。

質問 1 中子軽石の降灰時期は 13~15 万年前としている。一方で大湊砂層は MIS5e の最高海水準時（12~13 万年前）に形成されたとしている。大湊砂層の上部に中子軽石が堆積するとの主張は矛盾した主張と考える。中子軽石の分析結果はどこに公表されているのか。

質問 2-1 A4 層と大湊砂層の間は、2012.4.18 まで指交とされていたが、2014.9.27 以降は不整合とされた。指交と判断した根拠は何か。不整合と変更した理由は何か。何時の調査結果で変更したのか。

質問 2-2 東電は、以前から「岸ほか（1996）は、番神砂層下部層（水成層）と番神砂層上部層（風成層）の境界付近に NG（中子軽石層：約 13~15 万年前）が挟在されることを確認し、「番神砂層下部層（水成層）」は安田層下部層を整合に覆う海浜~浅海性の MIS5e の堆積物と判断して「大湊砂層」と再定義している」と主張していたわけだが、この主張は改めたのか。改めたなら、その根拠は何か。

質問 3 東電の地質調査は設置許可申請時や耐震バックチェック時、中越沖地震後に行なわれたと認識している。その後 2012.8.10 の保安院意見聴取会で安田層堆積時期の説明に行き詰まり、調査を行ない、2013.4.18 に報告書となった。2013.9.27 の規制基準適合性申請のための調査は 4.18 の調査報告が基本なのではないのか。調査の経過の認識は、これでよいか。

2013.4.18 と 9.27 の間に、何か調査した結果、整合から不整合に変えたのか。4.18 の調査結果の解釈で変えたのか。

質問 4 安田層はどこにいったのか。

東電は敷地内の基盤上の地層を古安田層と主張しているようである。

2013.4.18 の調査報告にある谷埋堆積物が安田層なのか。

柏崎平野に広く分布する中位段丘形成の従前安田層としていたものも古安田層と主張するのか。

中位段丘形成層を古安田層とするなら、段丘区分の基本（中位段丘は MIS5、高位段丘は MIS7）を越脱する主張にならないか。

質問 5 発表の都度、合理的理由も示さずに、内容を変えることは、不信を招く。

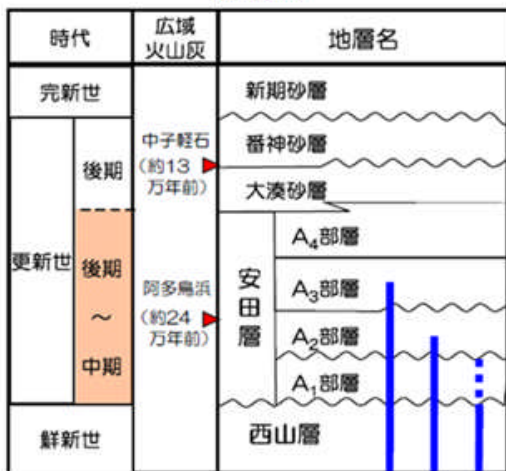
以前の調査は間違っていたということなのか。

今回、また、大々的地質調査が展開されている訳だが、以前の調査は不十分だったのか。

○敷地内の断層活動時期

2012.08.10

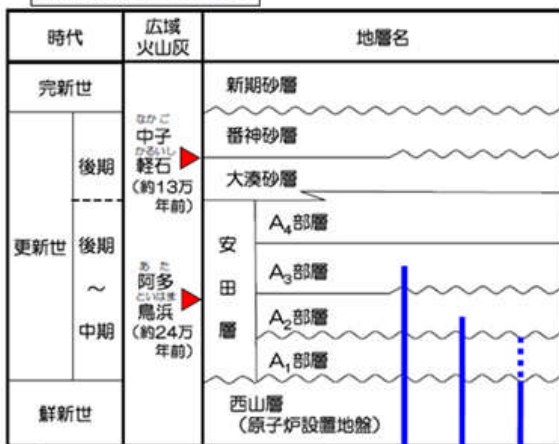
既往評価



■ 安田層の上部の堆積時期は後期更新世の可能性があると考えていた。

α・β断層
F系断層
V系断層
L系断層
①・②断層

東京電力 2013.04.18



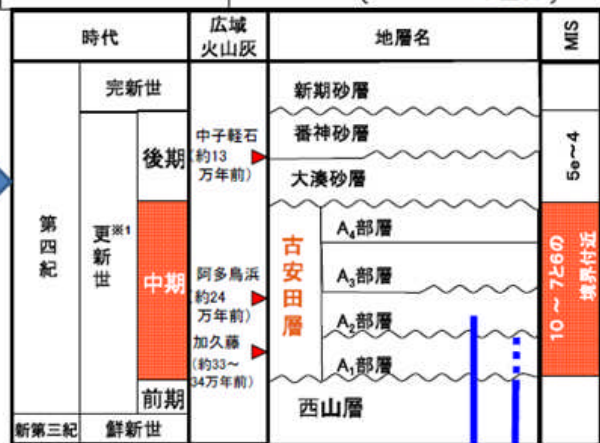
[~ 不整合] [← 指交]

α・β断層
F系断層
V系断層
L系断層
①・②断層

【敷地内の断層活動時期】

東京電力 2013.09.27

[~ 不整合]



■ 敷地の安田層の堆積時期は、中期更新世であることを確認し、古安田層と称する

※1: 更新世の始まり約258万年前

F系断層
V系断層
L系断層

2014.03

敷地内断層の活動実績を確認しました

敷地内の断層は、ボーリング調査で約20万年前以降の活動がないことを確認しています。

